

置賜定住自立圏共生ビジョン

平成31年3月 策定

令和元年11月 改定

米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町

目次

1 定住自立圏共生ビジョンについて

(1) 定住自立圏共生ビジョンの目的	1
(2) 定住自立圏の名称	1
(3) 定住自立圏を形成する市町の名称	1
(4) 計画期間	1

2 圏域の概況

(1) 地勢	2
(2) 歴史的なつながり	2
(3) 各市町の概況	3
(4) 圏域の人口	7

3 圏域の将来像

(1) 圏域の将来像	11
(2) 圏域の将来展望人口	11

4 具体的な取組

(1) 生活機能の強化に係る政策分野	14
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	34
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	40

5 共生ビジョンの進捗管理等について

(1) 共生ビジョンの進捗管理について	42
(2) 成果指標一覧	42

1 定住自立圏共生ビジョンについて

(1) 定住自立圏共生ビジョンの目的

定住自立圏とは、「中心市」と「近隣市町村」が連携して、都市圏への人口流出を防ぐとともに、定住を進めるために形成する圏域のことです。圏域内の各市町村は、独自性を互いに尊重しながら、連携・役割分担して、地域の活性化に向けた取組を推進することで、定住に向けた機能の充実や地域の魅力向上を目指します。

本共生ビジョンは、置賜地域における定住自立圏の将来像や、その実現のために、圏域内の市町が連携して推進する具体的な取組内容を示すものです。

(2) 定住自立圏の名称

置賜定住自立圏

(3) 定住自立圏を形成する市町の名称

米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町

(4) 計画期間

本ビジョンの計画期間は、令和元年度から令和5年度までの5年間とし、必要に応じて所要の変更を行います。

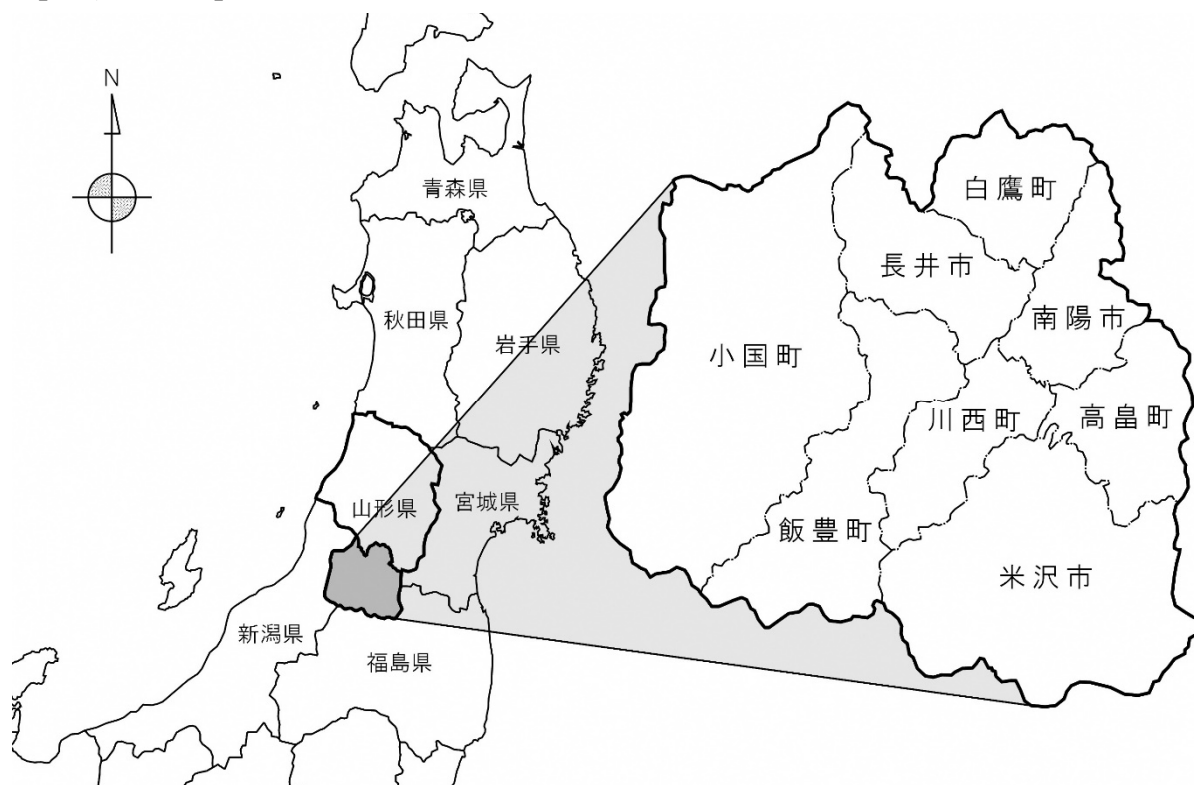
2 圏域の概況

(1) 地勢

置賜地域は、山形県の南部に位置し、米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町の3市5町から構成される、東西最大56km、南北最大57km、総面積2,495.24km²に及ぶ地域です。南方は吾妻山地・飯豊山地を境に福島県及び新潟県に、東方は奥羽山脈を境に宮城県及び福島県に、北方は朝日山地・白鷹山を境に山形県村山地域に、西方は朝日山地を境に新潟県に接しています。

米沢、長井、小国の各盆地からなる地形環境は、圏域の77.1%を山林が占め、磐梯朝日国立公園や県南県立自然公園などの優れた景観に赤湯・小野川・白布といった多様な温泉、四季折々の自然風景や独特の食文化を生み出しています。明治時代、英国の女性旅行家イザベラ・バードがこの地を訪れたとき、その実り豊かな大地と人情の温かさから“東洋のアルカディア（理想郷）”と称したほどです。

【圏域の概況】

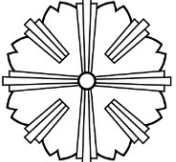


(2) 歴史的なつながり

置賜地域は、明治の市制・町村制の施行や、昭和の合併などを経て、現在の3市5町の体制になりました。この地域は、古代から置賜郡として現在とほぼ同じ範囲が郡域となっており、中世の長井氏・伊達氏・蒲生氏の支配を経て、江戸時代には大部分が米沢藩上杉家の領地となりました。米沢藩制時代には、越後街道をはじめとした陸上交通と最上川舟運を通じた水上交通の発達によって地域内や全国とも広域的に結びつき、その中で独自の産業や文化を発展させてきました。このため、地域内には米沢藩や上杉家にまつわる文化財が多く存在するなど、歴史的・文化的なつながりを有しています。

(3) 各市町の概況

【出典】人口：平成 27 年国勢調査、面積：平成 29 年全国都道府県市区町村別面積調

	米沢市 人口：85,953 人 面積：548.51 km²	【特産品】 館山りんご、米沢牛、米沢鯉、地酒、米沢らーめん、うこぎ、雪菜、小野川豆もやし、米沢織、笹野一刀彫 【観光施設】 上杉神社、上杉家廟所、上杉記念館、米沢市上杉博物館、道の駅米沢、道の駅田沢、旧米沢高等学校本館、米沢八湯、天元台高原 【主な催し】 米沢上杉まつり、なせばなる秋まつり、上杉雪灯籠まつり、米沢牛肉まつり、小野川温泉ほたるまつり、愛宕の火祭り
	長井市 人口：27,757 人 面積：214.67 km²	【特産品】 米沢牛、天然水、馬肉ラーメン、行者菜、伊佐沢すいか、ホップ、けん玉 【観光施設】 道の駅 川のみなと長井、古代の丘資料館、文教の杜、伊佐沢の久保桜、草岡の大明神桜 【主な催し】 ながい黒獅子まつり、長井あやめまつり、長井水まつり・最上川大花火大会、長井 1000 人いも煮会、長井マラソン大会

	南陽市 人口：32,285 人 面積：160.52 km²	【特産品】 さくらんぼ、りんご、ぶどう、 ラ・フランス、ワイン、清酒、ラーメン、 おかひじき、青芋織り 【観光施設】 赤湯温泉、熊野大社、南陽スカイパーク、 烏帽子山公園、双松公園、 ハイジアパーク南陽、稲荷森古墳、 結城豊太郎記念館、夕鶴の里資料館 【主な催し】 赤湯温泉桜まつり、南陽のバラまつり、 南陽の菊まつり、 赤湯温泉ふるさとまつり、 北条郷熊野の夏祭り、 ワインフェスティバル、 スカイフェスティバル
	高畠町 人口：23,882 人 面積：180.26 km²	【特産品】 米、ラ・フランス、ぶどう、りんご、 さくらんぼ、まつたけ、そば、牛肉、 清酒、ワイン、納豆、乳製品、 農産加工品（ジュース、ジャム、漬物等） 【観光施設】 亀岡文殊、まほろば古の里歴史公園、 旧高畠駅、道の駅たかはた、 浜田広介記念館、ゆうきの里さんさん、 高畠ワイナリー、昭和縁結び通り、 よねおりかんこうセンター 【主な催し】 青竹ちょうちんまつり、 たかはた咲食楽(さくら)フェスティバル、 クラシックカーレビューin 高畠、 大日如来わらじみこしまつり、 まほろば冬咲きぼたんまつり

	川西町 人口：15,751 人 面積：166.60 km²	【特産品】 米、米沢牛、清酒、紅大豆、むくり鮎、牛こん、ダリア 【観光施設】 ダリヤ園、置賜公園ハーブガーデン、浴浴センターまどか、川西ダリヤパークゴルフ場、内山沢遊歩道、フレンドリープラザ、遅筆堂文庫、アルカディア人物館、下小松古墳群、天神森古墳、掬粋巧芸館、森のマルシェ、龍蔵桜 【主な催し】 ハーブガーデンフェア、かわにし夏まつり、地酒と黒べこまつり、小松豊年獅子踊、産業フェア、春待ち市、ダリヤカップマウンテンバイク大会、吉里吉里忌、玉庭ひなめぐり
川西町は、古くは越後街道の宿場町として栄え、豊かな自然とともに稲作や米沢牛の生産が盛んな町です。また近年は、在来種である登録商標「紅大豆」に多くの関心が寄せられています。 町内には、日本最大規模を誇るダリヤ園、町出身の作家・劇作家井上ひさし氏に関する貴重な資料や蔵書などを収蔵する遅筆堂文庫・フレンドリープラザなどがあります。 地理的に置賜地方のほぼ中心に位置し、各市町からのアクセス性に優れていることから、地域の高度医療、救急医療を担う公立置賜総合病院が立地しています。近接する国道287号長井南バイパスや国道113号梨郷道路などの主要幹線道路の整備と併せ、病院周辺の土地を活用し、医療・住宅・商業が融合したまちづくりを進めています。		

	小国町 人口：7,868 人 面積：737.56 km²	【特産品】 山菜（ワラビ、ゼンマイ、アザミ等）、きのこ（マイタケ、ナメコ、キクラゲ等）、雑穀（タカキビ、アワ、アマランサス等）、米沢牛、やまがた地鶏、イワナ、地酒、つる細工 【観光施設】 飯豊梅花皮（かいらぎ）荘、飯豊山荘、白い森交流センターりふれ、水源（みず）の郷パークゴルフ場、健康の森横根、白い森オートキャンプ場、大宮子易両神社、黒沢峠、道の駅白い森おぐに 【主な催し】 おぐに石楠花（しゃくなげ）まつり、小玉川熊まつり、おぐに夏まつり、飯豊連峰紅葉ジョギング大会、雪の学校、黒沢峠まつり、古田歌舞伎公演、おぐに鍋まつり
小国町は東京都23区がすっぽり入るほどの広大な町域を有し、その大部分がブナなどの広葉樹を中心とする森に覆われています。また、全国屈指の豪雪地帯で積雪が4mを超える集落もあります。冬季には国道113号が他に通じる唯一の道路となりますが、吹雪などにより全面通行止となる場合もあります。 こうした厳しい環境の中で自然と共生しながら磨き上げてきた独特の生活文化・生活技術が、現在も暮らしの中に脈々と受け継がれています。 一方、町の中心部には極めて高度な先端素材を製造するグローバル企業も立地し、山間地域には珍しい製造業を中心とした産業構造となっています。		

	白鷹町 人口：14,175 人 面積：157.71 km²	【特産品】 ミニトマト、そば、紅花、鮎、生乳、深山和紙・深山和紙人形、白鷹紬、天蚕紬 【観光施設】 深山観音堂、のどか村、道の駅白鷹ヤナ公園（やな場）、ふるさと森林公園（パレス松風）、どりいむ農園 【主な催し】 しらたか古典桜まつり、紅花まつり、鮎まつり、若鮎マラソン
白鷹町は、山形県の南部、置賜盆地の北端に位置し、町の中央部を南から北へ最上川が流れ、西は朝日連峰、東は白鷹丘陵に囲まれる自然豊かな地域です。 交通面では、南北に国道 287 号線が、町中心部から東（南陽市・山形市方面）へは国道 348 号線がはしり、鉄道については、南陽市赤湯から白鷹町荒砥までを運行区間とする山形鉄道フラワー長井線が通っています。 紅花の生産量が日本一であることから、「日本の紅（あか）をつくる町」をキャッチフレーズに、紅花まつりの開催や白鷹町に由来する「紅（あか）」を集めた「SHIRATAKA RED（シラタカ・レッド）」の商品開発などの取組を行っています。		

	飯豊町 人口：7,304 人 面積：329.41 km²	【特産品】 米沢牛、米、アスパラガス、こくわワイン、どぶろく、わらび、菅笠、 【観光施設】 どんでん平ゆり園、道の駅いいで、めざみの里観光物産館、農家レストラン「エルベ」、広河原温泉 間欠泉、がまの湯 いいで旅館、ホトケヤマ散居集落展望台 【主な催し】 荒獅子まつり、めざみの里まつり、SNOWえっぐフェスティバル、全国白川ダム湖畔マラソン大会、いいで黒べこまつり
飯豊町は、山形県の南西部に位置し、総面積のうち約 8 割以上を緑豊かな山林が占めます。飯豊連峰から流れる清流白川が町を縦断し、最上川に注ぎ、全国的にも数少ない屋敷林に囲まれた、田園散居集落が美しい景観を形成しています。 飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。素晴らしい地域資源を持ちながら過疎にある町村が、自らの地域に誇りを持ち、将来にわたって美しい地域づくりを行うこと、地域の自立を推進すること、また、景観や環境を守り、地域の特色を観光資源として付加価値を高め、地域資源の保護と地域経済の発展を目指しています。		

(4) 圏域の人口

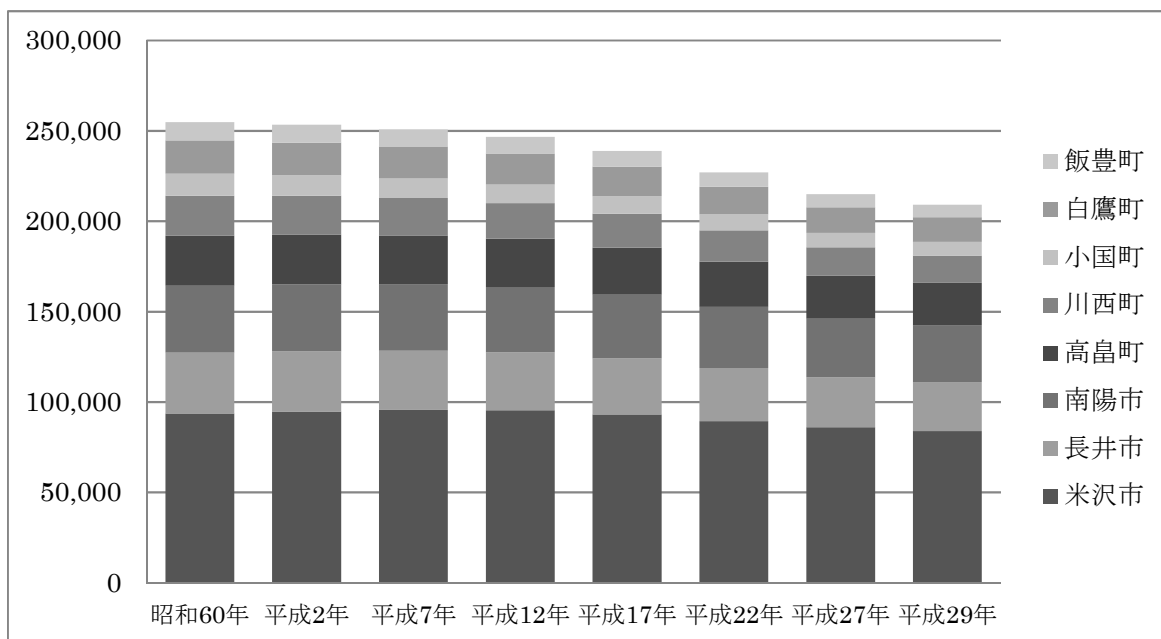
① 人口推移

国勢調査等の結果を見ると、圏域の人口は、平成2年から平成29年までの間に4万人以上が減少し、平成29年10月1日現在の圏域の人口は約21万人になっています。

【圏域の人口推移】

単位：人

市町名等	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成29年
米沢市	94,760	95,592	95,396	93,178	89,401	85,953	83,944
長井市	33,260	32,727	31,987	30,929	29,473	27,757	27,096
南陽市	36,977	36,810	36,191	35,190	33,658	32,285	31,555
高畠町	27,510	26,964	26,807	26,026	25,025	23,882	23,289
川西町	21,548	20,764	19,688	18,769	17,313	15,751	15,156
小国町	11,315	10,715	10,262	9,742	8,862	7,868	7,540
白鷹町	18,112	17,706	17,149	16,331	15,314	14,175	13,553
飯豊町	9,880	9,538	9,204	8,623	7,943	7,304	7,022
置賜圏域	253,362	250,816	246,684	238,788	226,989	214,975	209,155



出典：総務省「国勢調査」、山形県「平成29年山形県の人口と世帯数」

② 圏域の年齢3区分別人口の推移

圏域人口の推移を年齢区分別に見ると、平成2年から27年までの間に、老年人口（65歳以上）が1.5倍に増えている一方、生産年齢人口（15～64歳）は25%減少し、年少人口（0～14歳）にあつては44%も減少しています。

【圏域の年齢3区分別人口の推移】

単位：人

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
0～14歳	46,464	41,516	36,809	32,488	28,930	25,990
15～64歳	163,842	157,583	151,554	143,673	133,875	122,109
65歳以上	43,048	51,712	58,314	62,567	63,577	66,311
総数	253,362	250,816	246,684	238,788	226,989	214,975

※総数には年齢不詳者を含むため、各年齢区分の合計とは一致しない。出典：総務省「国勢調査」

平成29年10月1日現在の置賜地域の年齢3区分別の人口の割合は、山形県全体の割合と類似した傾向にありますが、全国と比べると、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）の割合が低く、老年人口（65歳以上）の割合が高い傾向にあります。また、人口に占める老年人口の割合（高齢化率）は3割を超えています。

【圏域の年齢3区分別人口】（H29.10.1時点）

単位：人、%

市町名等	総数	年少人口 (0～14歳)		生産年齢人口 (15～64歳)		老年人口 (65歳以上)	
米沢市	83,944	9,852	11.8	48,724	58.3	24,935	29.9
長井市	27,096	3,128	11.6	14,604	54.0	9,322	34.5
南陽市	31,555	3,737	11.9	17,488	55.5	10,277	32.6
高畠町	23,289	2,974	12.8	12,876	55.3	7,424	31.9
川西町	15,156	1,630	10.8	8,054	53.1	5,472	36.1
小国町	7,540	824	10.9	3,798	50.4	2,918	38.7
白鷹町	13,553	1,497	11.1	7,107	52.5	4,927	36.4
飯豊町	7,022	814	11.6	3,681	52.4	2,527	36.0
置賜圏域	209,155	24,456	11.7	116,332	55.8	67,802	32.5
山形県	1,101,452	129,360	11.8	613,859	56.0	353,791	32.3
全国	12,672	1,560	12.3	7,596	59.9	3,515	27.7

※全国の人口総数の単位は「万人」

出典：山形県「平成29年山形県の人口と世帯数」

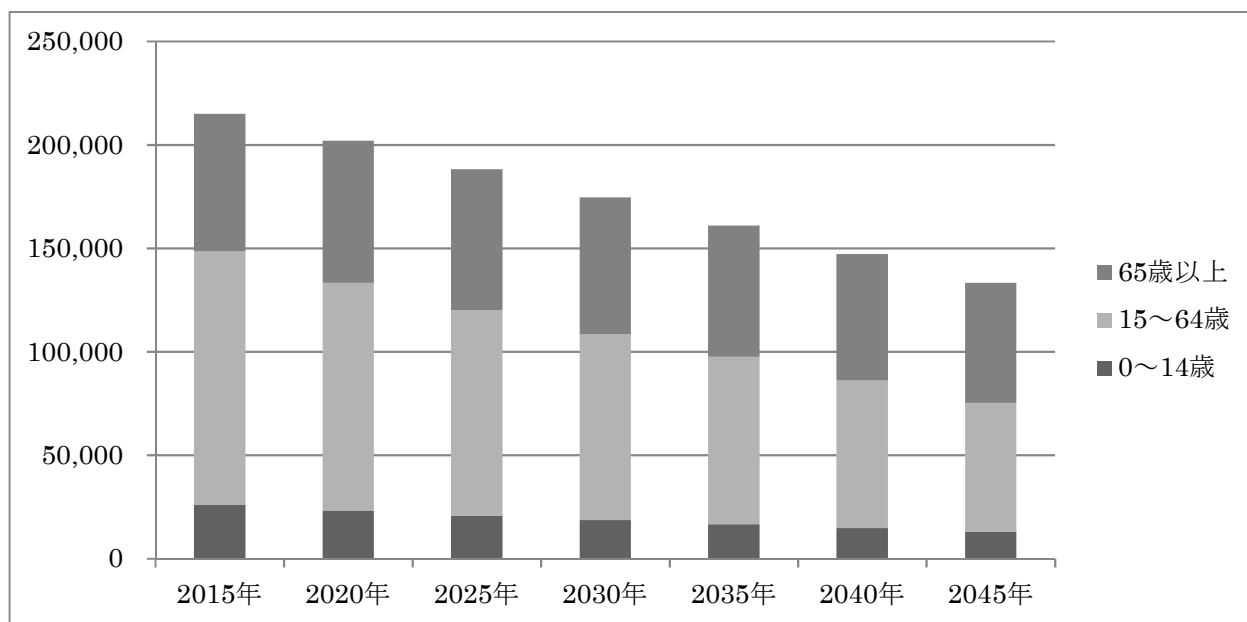
③ 将来推計人口

平成30年3月に国立社会保障・人口問題研究所が発表した将来推計人口によると、今後30年で圏域全体の人口は4割近く減少する見込みとなっています。特に、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）が約半分になる見込みです。

【圏域の将来推計人口（3区分別）】

単位：人

	2015 年 (平成 27 年)	2020 年	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年
0～14 歳	25,990	23,312	20,766	18,642	16,579	14,722	12,941
15～64 歳	122,522	109,988	99,367	89,814	81,040	71,412	62,396
65 歳以上	66,463	68,611	68,132	66,140	63,325	61,043	57,929
総 数	214,975	201,911	188,265	174,596	160,944	147,177	133,266



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30（2018）年推計）」

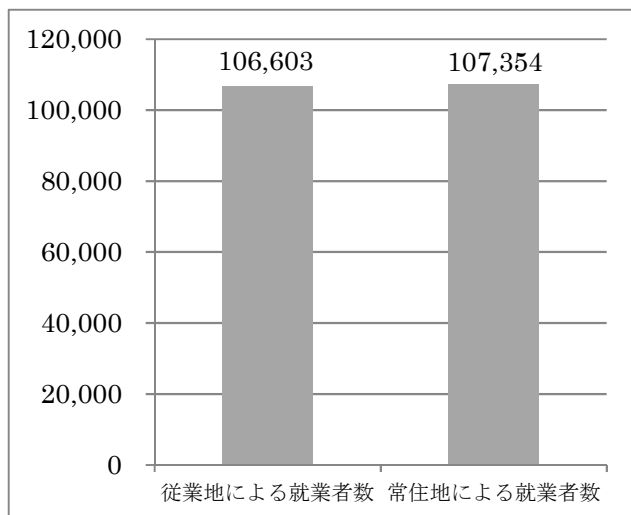
④ 地域の一体性

置賜圏域の特徴として、圏域内の人口のうち、従業地による就業者数と常住地による就業者数、昼間人口と夜間人口のそれぞれが、ほぼ一致していることが挙げられます。

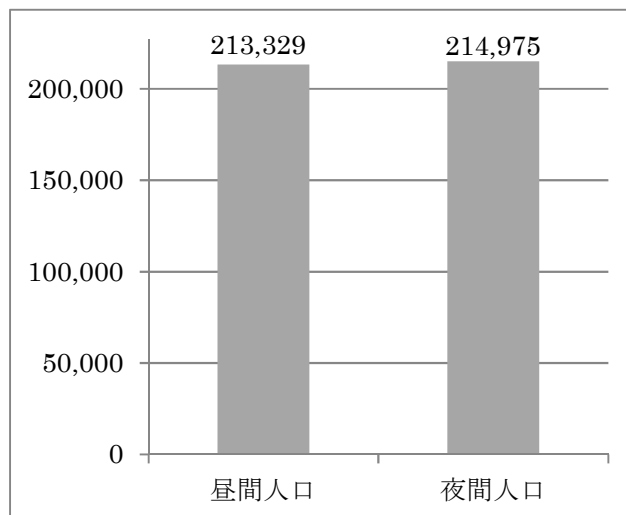
「圏域内市町における常住地と従業地の関係」を見ても、多くの住民が圏域内で就業等をしていることがわかり、圏域全体として、「職」と「住」が一体的な地域であることを示しています。

※従業地による就業者数：圏域外に住んでいる人を含む、この圏域で就業している人口
 常住地による就業者数：常住している人口のうち就業している人口
 昼間人口：常住している人口に、就業や就学で出入りする人口を加味した人口
 夜間人口：常住している人口（＝国勢調査における人口）

【従業者数・就業者数】（単位：人）



【昼間人口・夜間人口】（単位：人）



出典：総務省「平成 27 年国勢調査」

【圏域内市町における常住地と従業地の関係】

単位：人

従業地 常住地	米沢市		長井市		南陽市		高畠町		川西町		小国町		白鷹町		飯豊町		その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
米沢市	35,681	85.9%	364	0.9%	830	2.0%	1,264	3.0%	777	1.9%	38	0.1%	34	0.1%	79	0.2%	2,479	6.0%
長井市	695	5.4%	8,203	63.9%	603	4.7%	137	1.1%	729	5.7%	99	0.8%	861	6.7%	656	5.1%	846	6.6%
南陽市	2,164	14.7%	902	6.1%	7,716	52.3%	1,269	8.6%	745	5.0%	35	0.2%	85	0.6%	161	1.1%	1,690	11.4%
高畠町	3,605	32.5%	251	2.3%	1,416	12.8%	4,483	40.4%	368	3.3%	15	0.1%	23	0.2%	36	0.3%	896	8.1%
川西町	2,007	29.5%	592	8.7%	698	10.3%	492	7.2%	2,497	36.7%	19	0.3%	43	0.6%	122	1.8%	339	5.0%
小国町	75	2.1%	126	3.5%	21	0.6%	6	0.2%	38	1.0%	3,134	86.3%	3	0.1%	55	1.5%	174	4.8%
白鷹町	174	2.7%	1,635	25.5%	170	2.6%	34	0.5%	157	2.4%	12	0.2%	3,403	53.0%	124	1.9%	712	11.1%
飯豊町	283	8.6%	944	28.6%	211	6.4%	50	1.5%	264	8.0%	86	2.6%	76	2.3%	1,279	38.8%	106	3.2%

※従業・通学者数は、15 歳以上の従業者及び通学者数の合計から、自宅において従業する者を除いた値。

網掛部は、自市町での従業・通学者。太枠部は、他市町村で従業・通学者数の割合が 10%を超える箇所。

出典：総務省「平成 27 年国勢調査」

【従業者・通学者数】

単位：人

米沢市	長井市	南陽市	高畠町	川西町	小国町	白鷹町	飯豊町
41,546	12,829	14,767	11,093	6,809	3,632	6,421	3,299

出典：総務省「平成 27 年国勢調査」

3 圏域の将来像

(1) 圏域の将来像

～ つながる置賜 とともに明るい未来へ ～

置賜圏域は、歴史的背景や地理的要因から、行政区域を越えて生活圏を共有し、経済、教育、文化などの面で深いつながりを持ちながら発展してきました。

これまで圏域内の各市町は、それぞれが活力ある地域づくりを実現するため、様々な取組を推進してきましたが、人口減少や高齢化は急速に進んでおり、今後も、こうした傾向は続くものと予測されます。

急激な人口減少は、労働力人口の減少による地域経済の縮小、担い手不足による地域活力や地域機能の低下、社会基盤の維持管理コストや社会保障費の増加等による自治体財政の悪化などを招き、さらなる人口減少を引き起こしてしまうといった悪循環に陥る危険性をはらんでいます。

こうした状況の中、今後も、地域の活性化を図り持続的に発展していくためには、単独自治体での事業展開には限界があることから、広域で連携し、効果的、効率的に行政運営を行うことが必要です。また、自治体間の連携に加え、圏域内の関係団体、事業者、住民等との協働を推進することで、さらなる相乗効果が期待されます。

このような認識の下、置賜圏域の8市町は、それぞれの独自性を維持しながら、地域の魅力をしっかりと磨き、その上で様々な分野において連携を深めつつ、住民の暮らしに必要な諸機能を圏域全体として確保することで、住民が暮らしやすい、活力ある圏域を創造し、共存共栄を目指します。また、豊かな自然、文化といったかけがえのない圏域の財産を次世代に引き継ぐとともに、圏域全体が未来に向けてさらに発展するよう、魅力あふれる圏域を目指し前進していきます。

(2) 圏域の将来展望人口

平成27年度に圏域内の各市町が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「人口ビジョン」を基に、本圏域における2040年における圏域全体の将来展望人口を172,512人とし、高齢化率を35.5%以下と定めます。

【圏域の将来展望人口】

(単位：人)

		2015 H27	2020 R2	2040 R22	構成比	社人研推計 との比較
将来展望人口 (人口ビジョン)	0～14歳	25,990	23,680	22,999	13.3%	8,277
	15～64歳	122,522	113,045	88,292	51.2%	16,880
	65歳以上	66,463	68,460	61,221	35.5%	178
	総数	214,975	205,185	172,512		25,335
将来推計人口 (社人研)	0～14歳	25,990	23,312	14,722	10.0%	
	15～64歳	122,522	109,988	71,412	48.5%	
	65歳以上	66,463	68,611	61,043	41.5%	
	総数	214,975	201,911	147,177		

出典：各市町「人口ビジョン」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

4 具体的な取組

圏域の将来像の実現に向けて、置賜定住自立圏の形成に関する協定書に基づき、各市町が連携して推進していく具体的取組の内容を以下に掲載します。

政策分野	分野	取組事項	具体的取組	掲載頁
(1) 生活機能の強化	① 医療	ア 地域医療体制の充実	1 平日夜間及び休日における診療体制の充実	14
			2 医療情報ネットワークの運営	15
			3 医療従事者確保事業	15
			4 病院群輪番制病院運営事業	16
			5 人工透析患者送迎事業	16
	② 福祉	ア 子育て支援の充実	1 病児保育事業（病児対応型）の実施	17
			2 一時預かり事業の広域的利用	18
			3 児童遊園施設等の広域利用	18
			4 指定児童発達支援事業所の広域利用	19
		イ 福祉・健康事業の充実	1 置賜成年後見センター（仮称）の設立検討	19
			2 自殺対策における普及啓発活動の推進	20
			3 養護老人ホームの整備	20
	③ 教育	ア 教育環境・生涯学習の充実	1 白鷹高等専修学校教育充実支援事業	21
			2 各種講座、企画展等の実施	21
			3 圏域内図書館の連携	22
	④ 産業振興	ア 農畜産物等の振興	1 置賜地域特産農産物等消費流通拡大事業	22
			2 有害鳥獣対策の広域的対応の検討	23
		イ 米沢牛の振興	1 米沢牛生産基盤強化事業	23
			2 自給飼料の確保及び放牧場の広域利用	24
			3 先進的取組の推進	24
			4 米沢市食肉センターの管理運営	25
			5 米沢牛のブランド向上に向けてのPR推進	25
			6 米沢牛生産者への支援事業	26
			7 米沢牛の生産基盤強化に向けた研究会の開催	26

政策分野	分野	取組事項	具体的取組	掲載頁
		ウ 商工業の活性化と雇用促進	1 産業人材の確保・定着の促進	27
		エ 広域観光の推進	1 道の駅米沢を中心とした広域観光の推進	28
			2 山形おきたま観光協議会による観光プロモーションの実施	29
			3 地域連携 DMO の運営	29
	⑤ 環境	ア 環境の保全	1 環境保全及び循環型社会構築事業	30
			2 再生可能エネルギーの利用促進	31
			3 森林・里山保全対策の検討	31
	⑥ 水道	ア 圏域内水道の広域連携等の検討	1 圏域内水道の広域化の検討	32
	⑦ 消防・防災	ア 消防・防災体制の強化	1 消防・防災体制の強化	33
(2) 結びつきやネットワークの強化	① 交通	ア 交通ネットワーク等の維持・整備	1 圏域内鉄道路線の利用促進	34
			2 山形鉄道フラワー長井線の利用拡大及び鉄道施設等の維持管理や整備	35
			3 路線バス等の運行、維持	35
			4 既存公共交通の利用拡大策の検討	36
			5 広域的な公共交通網の整備に向けた検討	36
			6 道路除雪の路線交換	37
			7 圏域内における道路整備の推進	37
	② 移住・定住・交流	ア 移住・定住・交流等の推進	1 広域連携による移住交流促進事業	38
			2 地域おこし協力隊交流事業	38
			3 婚活支援事業	39
(3) 圏域マネジメント能力の強化	① 職員等の交流	ア 職員研修及び交流	1 職員研修事業	40
			2 地方創生に向けた人材育成事業	41

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

① 医療

ア 地域医療体制の充実

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の住民が安心して暮らすことができる地域医療体制の充実を図るため、病院、診療所等の関係機関の連携を図るとともに、医師、看護師等の医療従事者の確保に向けた取組を行う。
-------	--

【具体的取組】

事業名	1 平日夜間及び休日における診療体制の充実							
関係市町	全市町							
事業内容	平日夜間及び休日における初期救急医療体制を確保するため、圏域内の3つの診療所を維持するとともに、住民に対して初期救急医療の適切な利用に関する普及啓発を行う。 ・米沢市平日夜間・休日診療所：米沢市 ・南陽東置賜診療所：南陽市、高畠町、川西町（休日昼間のみ※） ・長井西置賜休日診療所：長井市、小国町、白鷹町、飯豊町（休日昼間のみ※） ※平日夜間については、置賜総合病院救命救急センターと連携を図る。							
期待される効果	圏域における利用者の利便性向上と初期救急医療体制の確立が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	平日夜間・休日診療所の運営			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	普及啓発活動の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 （千円）	R1	R2	R3	R4		R5		合計
	54,681	54,535	54,535	54,535		54,535		272,821
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・米沢市、長井市、南陽市は、診療所の運営を行う。 ・高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町は、各施設の維持等に係る費用を負担する。 ・各市町は、住民に対して周知を行う。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 医療情報ネットワークの運営							
関係市町	米沢市、高畠町							
事業内容	検査結果や画像データ等、医療情報の共有を図るため、米沢市立病院を中心に、公立高畠病院等の医療機関との間で構築した医療情報ネットワークを運営する。							
期待される効果	圏域住民の身体的経済的負担の軽減及び早期診断・早期治療が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	システムの運用			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	機器更新							⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4		R5		合計
	2, 037	2, 056	2, 056	2, 056		10, 120		18, 325
活用を想定する補助制度等	特別交付税（病診連携等）							
役割分担	・米沢市は、当該ネットワークの運用及び更新に係る費用を負担し、システムの維持を図る。 ・高畠町は、当該ネットワークを活用し、医療情報の共有を図る。							

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	3 医療従事者確保事業							
関係市町	全市町							
事業内容	圏域内の急性期医療を担う中核病院である米沢市立病院の機能を維持するため、医師や看護師等医療従事者の確保に向けた事業を行う。							
期待される効果	圏域内の医療体制が維持されることで、住民の安全・安心につながることを期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	医療従事者確保事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	医療従事者奨学資金貸付制度の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	17, 280	22, 960	21, 640	23, 440	23, 640	108, 960		
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・ 米沢市は、医療従事者確保のために必要な事業を行う。 ・ 各市町は、医療従事者確保に向けた情報提供・情報発信を行う。							

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	4 病院群輪番制病院運営事業							
関係市町	全市町							
事業内容	平日夜間や休日における二次救急医療体制を確保するため、圏域の中核病院である米沢市立病院を中心に、米沢市内にある２つの民間病院と輪番で診療を行う。							
期待される効果	圏域における二次救急医療体制が確立されることで、圏域住民の安全・安心の確保が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	病院群輪番制病院運営事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 （千円）	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	34, 952	34, 952	34, 952	34, 952	34, 952	174, 760		
活用を想定する補助制度等	特別交付税（病診連携等）							
役割分担	・ 米沢市は、二次救急医療体制の整備のため必要な事業を行う。 ・ 各市町は、住民に対し情報提供等を行う。							

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	5 人工透析患者送迎事業							
関係市町	小国町							
事業内容	人工透析を必要とする住民の身体的・経済的負担を減らすため、近隣に人工透析を実施する医療機関がない場合、周辺自治体の医療機関までの送迎を行う。							
期待される効果								
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	送迎事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4		R5		合計
	23, 831	23, 183	23, 183	23, 183		23, 183		116, 563
活用を想定する補助制度等	過疎対策事業債							
役割分担	・小国町は、対象者に情報提供を行うとともに送迎事業を行う。							

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

② 福祉

ア 子育て支援の充実

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の住民が、住み慣れた地域で、安心して子どもを産み育てることができる環境をつくるため、子育て支援施設の広域利用等、支援体制の充実に向けた取組を行う。
-------	--

【具体的取組】

事業名	1 病児保育事業（病児対応型）の実施					
関係市町	全市町					
事業内容	安心して子育てできる環境をつくるため、米沢市、長井市及び川西町の認可保育所に付設された病児保育室において、連絡票による医師の指示のもと、看護師等が一時的に保育を行う。 ・米沢市：興道南部保育園（りんごのへや）、塩井保育園（すまいる） ・長井市：はなぞの保育園（みつばちルーム） ・川西町：美女木げんき保育園（げんきルーム）					
期待される効果	圏域として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3
	事業の実施			⇒	⇒	⇒
事業費見込 （千円）	R1	R2	R3	R4	R5	合計
	32,216	32,216	32,216	32,216	32,216	161,080
活用を想定する補助制度等	子ども・子育て支援交付金、山形県保育対策等促進事業費補助金、過疎対策事業債					
役割分担	・米沢市、長井市及び川西町は、実施している保育所に対して補助金等を交付する。 ・各市町は、住民に対して周知を行う。					

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 一時預かり事業の広域的利用					
関係市町	全市町					
事業内容	安心して子育てできる環境をつくるため、米沢市、長井市、南陽市、川西町及び白鷹町の認可保育所等において、家庭で保育を受けることが一時的に困難になった乳幼児を預かり、必要な保育を行う。 ・米沢市：明星保育園、興道北部保育園、そらいろ保育園 ・長井市：おひさま保育園、ベビーホーム杏 ・南陽市：宮内双葉保育園、赤湯乳幼児保育センター、赤湯ふたば保育園 ・川西町：子育て支援センター「こあら」、小松保育所 ・白鷹町：愛真こども園、よつばこども園、さくらの保育園、ひがしね保育園					
期待される効果	圏域として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3
	一時預かり事業の実施			⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計
	29,790	29,790	29,790	29,790	29,790	148,950
活用を想定する補助制度等	子ども・子育て支援交付金、山形県保育対策等促進事業費補助金					
役割分担	・米沢市、長井市、南陽市、川西町及び白鷹町は、実施している保育所等に対して補助金等を交付する。 ・各市町は、住民に対して周知を行う。					

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	3 児童遊園施設等の広域利用					
関係市町	全市町					
事業内容	圏域内における児童遊園施設や公園等、児童が遊べる施設の広域利用を図るため、施設の適切な維持管理を行うとともに、情報発信を行う。 ・米沢市：成島わくわくランド、大森山森林公園、児童会館 ・長井市：(仮称) 子育て世代活動支援センター ・南陽市：中央花公園、ハイジアパーク ・高畠町：屋内遊戯場 ・川西町：犬川河川公園、駅東地区広場等 ・白鷹町：にこぼーと (子育て支援センター)					
期待される効果	圏域として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3
	施設の維持管理			⇒	⇒	⇒
	広域利用の実施			⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計
	53,821	53,881	53,881	53,881	53,881	269,345
活用を想定する補助制度等	子ども・子育て支援交付金、山形県保育対策等促進事業費補助金					
役割分担	・米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町及び白鷹町は、当該施設の適正な維持管理を行う。 ・各市町は、住民に対して周知を行う。					

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	4 指定児童発達支援事業所の広域利用							
関係市町	全市町							
事業内容	障がい児の発達を支援するため、指定児童発達支援事業所を運営するとともに広域利用を推進する。 ・米沢市：ひまわり学園 ・長井市：すみれ学園							
期待される効果	圏域として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	広域利用の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	46, 509	46, 509	46, 509	46, 509	46, 509	232, 545		
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・米沢市及び長井市は、当該事業所の運営を行う。 ・各市町は、住民に対して周知を行う。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

イ 福祉・健康事業の充実

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の住民が安心して健康的に暮らすことができる地域づくりを進めるため、住民の福祉及び健康に関する事業の充実に向けた取組を行う。
-------	--

【具体的取組】

事業名	1 置賜成年後見センター（仮称）の設立検討							
関係市町	全市町							
事業内容	平成 28 年 5 月に施行された「成年後見制度の利用の促進に関する法律」における権利擁護支援の中核的な役割（※）を担うため、3 市 5 町での「置賜成年後見センター（仮称）」の設立に向けて検討を行う。 ※中核的な役割：認知症や障がい等の理由で判断能力の不十分な方々に対し財産管理や介護などのサービス契約について支援する「成年後見制度」を活用しやすいように、相談を受けたり、関係機関と連携を図ったりすること、等。							
期待される効果	中核機関の設立により、専門職による専門的助言等の支援の確保や、協議会の事務局運営など、地域連携ネットワークのコーディネートを担うことが可能となり、成年後見制度の利用促進が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	設立に向けた検討			⇒	⇒	⇒		
	置賜成年後見センター（仮称）設立・運営						⇒	⇒
	外部人材活用			⇒	⇒	⇒		
事業費見込 （千円）	R1	R2	R3	R4		R5		合計
	1, 308	1, 500	1, 500	0		0		4, 308
活用を想定する補助制度等	特別交付税（外部人材活用）							
役割分担	・ 米沢市は、設立の検討に向けた検討会を開催する。 ・ 各市町は、米沢市と連携し、検討を行う。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 自殺対策における普及啓発活動の推進							
関係市町	全市町							
事業内容	自殺対策を強化するため、自殺に関する現状や課題、対策に取り組む意義について関係者と認識を共有できる広域担当者連絡会議を開催する。また、圏域内にあ る専門病院、専門家等の人材を活用した講演会を開催し、住民への普及啓発に努 める。							
期待される 効果	自殺の現状と対策の必要性、支援体制に関する情報の提供など、これまで以上に 主体的な対策が検討されることが期待される。							
実施 スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	連絡会議や講演会等の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	199	200	200	200	200	999		
活用を想定す る補助制度等	山形県地域自殺対策強化交付金							
役割分担	・米沢市は、研修会や各関係機関の連携による自殺防止対策等の企画運営につい ての事務局を担う。 ・各市町は、専門機関、専門家等の研修の講師となる人材の選定や研修会受講対 象者への連絡調整を行うとともに自殺予防について周知を行う。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	3 養護老人ホームの整備								
関係市町	全市町								
事業内容	置賜広域行政事務組合が運営する養護老人ホーム「南陽やすらぎ荘」の老朽化等に対応するため、養護老人ホームを新たに整備する。 また、西置賜行政組合が運営する養護老人ホーム「おいたま荘」の老朽化等による機能低下を防止するため、適切な改修を行う。								
期待される効果	環境上・経済上の理由により在宅での生活が難しい住民の養護を行うことで、住民の安全・安心につながることを期待される。								
実施スケジュール	具体的な事業項目				R1	R2	R3	R4	R5
	南陽やすらぎ荘の整備				⇒	⇒	⇒	⇒	
	おいたま荘の施設改修				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4		R5		合計	
	129, 310	480, 092	867, 124	233, 619		3, 392		1, 713, 537	
活用を想定する補助制度等	地域活性化事業債、過疎対策事業債								
役割分担	・置賜広域行政事務組合は、南陽やすらぎ荘の整備を行う。 ・米沢市、南陽市、高畠町、川西町は、南陽やすらぎ荘の整備に必要な費用負担を行う。 ・西置賜行政組合は、おいたま荘の改修を行う。 ・長井市、小国町、白鷹町、飯豊町は、おいたま荘の改修に必要な費用負担を行う。								

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

③ 教育

ア 教育環境・生涯学習の充実

【形成協定の内容】

取組の内容	学校教育及び住民が生涯を通して学べる機会の充実を図るため、学校等の支援を行うとともに、各市町で開催する各種講座、講演会等の参加対象を圏域内住民に拡大し、及び公共施設の相互利用等を行う。
-------	--

【具体的取組】

事業名	1 白鷹高等専修学校教育充実支援事業								
関係市町	全市町								
事業内容	白鷹高等専修学校は、県内でも数少ない高等課程を有する専修学校だが、私立高等学校と同程度の支援がない状況にある。同校に通学する生徒の教育環境の充実と将来を担う人材を育成するため、財政的支援を行う。								
期待される効果	服飾・縫製関係で高い技術力を身につけ活躍できる人材の育成のほか、障がいや身体的・精神的問題を抱えている生徒への教育や、学びなおし・自立のための場としての活用が期待される。								
実施スケジュール	具体的な事業項目				R1	R2	R3	R4	R5
	白鷹高等専修学校への支援				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計			
	2, 450	2, 450	2, 450	2, 450	2, 450	12, 250			
活用を想定する補助制度等									
役割分担	各市町は、教員確保のための費用及び教育活動の情報発信等に係る費用について支援する。 平等割・国勢調査人口割・基準財政需要学割（各 10%）、生徒数割（70%）								

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 各種講座、企画展等の実施							
関係市町	全市町							
事業内容	各市町で開催する各種講座、企画展等の情報共有を図り、参加の促進を図る。							
期待される効果	圏域内における社会教育の振興や交流人口の増大が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	各種講座、企画展等の開催			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	0	0	0	0	0	0		
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・各市町は、各種講座、企画展等を実施するとともに相互に情報交換を行い、住民に周知する。							

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	3 圏域内図書館の連携							
関係市町	全市町							
事業内容	圏域内の住民の利便性を高めるため、各市町の図書館間の相互貸借を継続するとともに、読育推進、読み聞かせ等の活動についての情報交換や、地域への図書サービスの提供及び図書館活動の振興に寄与することを目的とした置賜地区公共図書館（室）連絡協議会を運営する。							
期待される効果	圏域住民における読書の機会提供への寄与が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	相互貸借の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	協議会の開催			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 （千円）	R1	R2	R3	R4		R5		合計
	0	0	0	0		0		0
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・米沢市は、協議会の事務局運営を行う。 ・各市町は、協議会活動への参画を行う。 ・図書の相互貸借に要する費用は、各市町が負担する。							

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

④ 産業振興

ア 農畜産物等の振興

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内で生産される安全で安心な農畜産物の振興を図るため、農畜産物及びその加工品についての生産振興及び情報発信等を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 置賜地域特産農産物等消費流通拡大事業							
関係市町	全市町							
事業内容	置賜地域の農畜産物、加工品、地域の食に関する産業振興のため、各市町の特色を活かした事業を実施するとともに、置賜農業振興協議会を中心とした広域的なPRイベントを行う。							
期待される効果	広域的な販路の確保やPR効果の増大のほか、生産者と消費者をつなぐ場の確保が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	協議会事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	各市町事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4		R5		合計
	25,017	21,610	21,110	21,110		21,110		109,957
活用を想定する補助制度等	地方創生推進交付金、過疎対策事業債							
役割分担	・各市町は、置賜農業振興協議会の費用負担を行い、関係機関とともに広域的事業等を行う。 ・県は、置賜農業振興協議会の事務局を担い、各市町と連携し、広域的事業の検討及び実施を行う。							

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 有害鳥獣対策の広域的対応の検討						
関係市町	全市町						
事業内容	農作物被害の原因となっている大型獣の生息数を効率的に減少させるため、射撃技術向上に資する施設を整備する。 また、捕獲技術者の高齢化等による人材不足に係る課題を解決するため、広域的対応を検討するとともに、担い手を確保するため、狩猟免許の取得・更新や有害捕獲活動への補助を行う。						
期待される効果	有害鳥獣対策における、人員不足に係る課題の解決が期待される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目		R1	R2	R3	R4	R5
	射撃場の整備		⇒				
	各種補助の実施		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	広域的対応の検討		⇒	⇒			
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計	
	13, 560	3, 194	3, 194	3, 194	3, 194	26, 336	
活用を想定する補助制度等							
役割分担	・米沢市は会議の場を設定し、各市町とともに有害鳥獣対策の広域的対応の検討を行う。 ・南陽市及び高畠町は、猟友会等とともに、射撃場の整備を行う。 ・各市町は、担い手確保のための事業を行う。						

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

イ 米沢牛の振興

【形成協定の内容】

取組の内容	地理的表示（G I）保護制度に登録された米沢牛の振興を図るため、増頭その他の生産基盤の強化に向けた取組を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 米沢牛生産基盤強化事業							
関係市町	全市町							
事業内容	米沢牛の生産基盤を強化するため、各市町の特色を活かした繁殖・肥育センターを整備し、広域利用を推進することで「置賜生まれ置賜育ちの米沢牛」の生産を図る。							
期待される効果	米沢牛の生産基盤を強化することで、高付加価値化、生産者労力の軽減、生産コストの低減などが期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	畜舎整備（米沢市）			⇒		⇒	⇒	⇒
	畜舎整備（川西町）					⇒	⇒	
	畜舎整備（飯豊町）			⇒	⇒	⇒		
事業費見込 （千円）	R1	R2	R3	R4		R5		合計
	186,960	70,000	255,000	385,000		20,000		916,960
活用を想定する補助制度等	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業、山形県畜産経営競争力強化支援事業、地域活性化事業債							
役割分担	・ 畜舎整備を行う市町等は、当該施設の整備及び管理運営を行う。 ・ 各市町は、肥育農家等に対して周知を行う。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 自給飼料の確保及び放牧場の広域利用							
関係市町	全市町							
事業内容	自給飼料の確保によるコスト削減や国内飼料給与による他産地との差別化を図るため、子実トウモロコシ及び飼料用イネ（WC S）の栽培実証・試験給与や飼料用米利用拡大等を行うとともに、飼料生産組織の設立を目指す。 また、圏域内における放牧場の整備を行い、広域利用を行う。 ・米沢市：吾妻山ろく放牧場 ・川西町：玉庭放牧場							
期待される効果	自給飼料確保による自給飼料率向上及びコスト削減、国内飼料給与による他産地との差別化、飼料生産組織の設立による雇用創出、稲に代わる作物栽培による農地維持・保全のほか、繁殖牛の増頭・繁殖農家の労働力軽減が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	実証栽培・給与検証			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	飼料生産組織設立							⇒
	放牧場の広域利用（草地更新、施設管理）			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 （千円）	R1	R2	R3	R4		R5		合計
	20,122	23,000	23,000	71,000		21,800		158,922
活用を想定する補助制度等	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業、国産飼料増産対策事業							
役割分担	・各市町は、県や関係機関と連携し、飼料の栽培に向けた取組や産地交付金の拡充を行う。 ・米沢市、川西町は、放牧場の維持管理を行う。 ・各市町は、放牧場の広域利用に向けた情報発信等を行う。							

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	3 先進的取組の推進								
関係市町	全市町								
事業内容	優秀な和牛生産に向け、現有の優秀個体の種雄牛及び未經産牛のゲノミック評価を実施し、米沢牛銘柄の確立と優秀個体の安定生産を図る。また、各市町は、繁殖雌牛増頭のため、山形おきたま農業協同組合や山形県酪農業協同組合と連携し、E T（受精卵移植）の積極的な活用を促すための助成を行う。								
期待される効果	高品質な「置賜生まれ置賜育ちの米沢牛」の生産拡大及び繁殖雌牛の増頭が期待される。								
実施スケジュール	具体的な事業項目				R1	R2	R3	R4	R5
	各種調整・協議				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	事業実施					⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 （千円）	R1	R2	R3	R4		R5		合計	
	2, 350	3, 875	5, 200	5, 325		3, 700		20, 450	
活用を想定する補助制度等									
役割分担	・米沢市は、先進的取組の推進に向けた研究会を開催し、各種調整・協議を行う。 ・各市町は、各関係機関や農家との調整を行い、事業の実施に向けた検討及び助成を行う。								

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	4 米沢市食肉センターの管理運営							
関係市町	全市町							
事業内容	米沢牛の適切な流通を確保するため、置賜地域の畜産物流通をけん引するとともに米沢牛の流通拠点として重要な役割を担う「米沢市食肉センター」の維持を行う。							
期待される効果	高度な衛生管理に基づく食肉流通の実現、米沢牛の流通の拡大への寄与が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	食肉センターの管理運営			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	114,788	130,000	130,000	130,000	130,000	634,788		
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・米沢市は、当該施設の管理運営を担う。 ・各市町は、各事業者の利用促進を図る。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	5 米沢牛のブランド向上に向けてのPR推進							
関係市町	全市町							
事業内容	地理的表示（GI）保護制度に登録された米沢牛の販路を拡大するため、米沢牛銘柄推進協議会と連携した国内外へのPR活動を推進する。また、各市町が実施する米沢牛PRイベントの継続及び連携を図るとともに新規事業の検討を行う。							
期待される効果	ブランド牛としてのPR効果増大や販路拡大、他ブランド牛との差別化などが期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	PR・販路拡大事業			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 （千円）	R1	R2	R3	R4	R5		合計	
	4,807	5,600	5,600	5,600	5,600		27,207	
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・各市町は、米沢牛銘柄推進協議会及び関係機関と連携した広域的なPRイベントを検討・実施するとともに、それぞれの特色を活かしたイベントを開催する。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	6 米沢牛生産者への支援事業							
関係市町	米沢市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、飯豊町							
事業内容	地理的表示（G I）保護制度への登録を契機とする需要増加に対応するため、増頭体制の確立及び肥育農家等の経営安定のため、市・町有牛の貸付等を行う。							
期待される効果	米沢牛の増頭、肥育農家等の経営安定が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	市・町有牛の貸付…①			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	肥育素牛導入補助…②			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 （千円）	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	① 225, 109	225, 109	225, 109	225, 109	225, 109	※ 225, 109		
	② 4, 000	4, 000	4, 000	4, 000	4, 000	20, 000		
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・米沢市、南陽市、高畠町、川西町、小国町及び飯豊町は、関係団体と連携し、米沢牛生産者への支援事業を行う。							

※①については、基金等からの貸付事業であり、各年度の事業費は貸付の上限額を示すので、

「合計」欄は各年度の合計値ではなく、毎年度の貸付上限額と同額を記載しています。

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	7 米沢牛の生産基盤強化に向けた研究会の開催							
関係市町	全市町							
事業内容	米沢牛の生産基盤強化に向けた各種事業の検討、各市町が抱える懸案事項の分析や調査研究、先進事例の調査等を行うため、外部人材を活用した研究会を開催する。 特に、生産者や関係者（受精師、削蹄師、飼料生産者）の高齢化等による後継者不足と技術継承を解決するため、畜産関係者の担い手育成及び経営基盤の安定化を目指した事業を検討する。							
期待される効果	各種事業の実施に向けた課題の解決を図ることで、米沢牛の生産基盤の強化が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	研究会の開催			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	事業の実施				⇒	⇒	⇒	⇒
	外部人材の活用			⇒	⇒	⇒		
事業費見込 （千円）	R1	R2	R3	R4		R5		合計
	2, 717	9, 000	9, 000	2, 000		2, 000		24, 717
活用を想定する補助制度等	特別交付税（外部人材活用）							
役割分担	・ 米沢市は、関係団体と連携し、外部人材を招へいた研究会を開催する。 ・ 各市町は、各種事業の実現に向けて協議検討を行い、必要な費用を負担する。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

ウ 商工業の活性化と雇用促進

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の経済の活性化を図るため、商工会議所、商工会等の関係団体と連携し、商工業の活性化及び雇用促進のための取組を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 産業人材の確保・定着の促進					
関係市町	全市町					
事業内容	圏域内の「労働力人口の不足」に対応するため、企業、学校、商工会議所・商工会、ハローワーク及び県などと連携し、若年労働力の安定確保やUIJ ターンの促進等、産業人材の確保及び定着に係る事業を行う。					
期待される効果	人材確保・定着の取組を実施することで、圏域内における労働力人口の確保が期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3
	人材確保事業の実施			⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計
	95	95	95	95	95	475
活用を想定する補助制度等						
役割分担	各市町は、置賜地区雇用対策協議会（構成市町：米沢市、南陽市、高畠町、川西町）、西置賜雇用対策協議会（構成市町：長井市、小国町、白鷹町、飯豊町）を中心として県及び関係団体と連携し、人材確保・定着促進に向けた事業を実施する。					

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

エ 広域観光の推進

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の豊かな自然、歴史、文化等の資源を活かした広域観光の推進を図るため、観光資源の新たな発掘、魅力の向上、圏域内外への情報発信等に向けた取組を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 道の駅米沢を中心とした広域観光の推進							
関係市町	全市町							
事業内容	「道の駅米沢」を中心に、圏域内の道の駅や各観光案内所等が連携し、地域情報の発信や産業振興などの地域連携機能を高めることにより、交流人口の拡大や地域産業力の強化、雇用の創出を図る。また、置賜圏域全体で質の高い旅行を提供できる仕組みづくりや、インバウンド誘致に係る事業等を行う。							
期待される効果	圏域内への交流人口の拡大、地域産業力の強化、雇用の創出などが期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	置賜地域の観光情報の発信			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	おきたま観光コンシェルジュ事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	圏域内の道の駅等との連携			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	データの収集・分析等のマーケティング事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	アプリの活用による道の駅米沢を拠点とする周遊事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	インバウンド誘致に係る事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	外部人材の活用			⇒	⇒	⇒		
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	37, 298	37, 298	37, 298	24, 218	24, 218	160, 330		
活用を想定する補助制度等	特別交付税（外部人材活用）							
役割分担	・ 米沢市は「道の駅米沢」を拠点に、各市町の様々な情報の発信、旅行商品の造成、産業振興連携企画、「道の駅米沢」内での連携イベント企画、圏域内の道の駅等が連携したイベント企画などのほか、事務局機能を担う。 ・ 各市町は、「道の駅米沢」を拠点とした様々な企画への参画、各市町の道の駅等での連携企画の実施、独自事業等の連携などの役割を担い、観光情報提供や観光コンテンツの掘り起こしや磨き上げ等、受け入れ態勢の強化を行う。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 山形おきたま観光協議会による観光プロモーションの実施							
関係市町	全市町							
事業内容	置賜地域の魅力や観光情報を首都圏等圏域外に広く発信するため、山形県と3市5町で構成する山形おきたま観光協議会により、置賜圏域のプロモーションを行う。							
期待される効果	圏域内への交流人口の拡大が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	協議会によるプロモーション事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	3,613	2,440	2,440	2,440	2,440	13,373		
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・各市町は、山形おきたま観光協議会の費用を負担するとともに、事業の実施及び情報提供を行う。 ・山形おきたま観光協議会は、各市町と連携し、置賜圏域のプロモーションを行う。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	3 地域連携 DMO の運営							
関係市町	全市町							
事業内容	観光振興による交流人口の拡大のため、長井市で行っているやまがた長井観光局（地域 DMO）の仕組みを広域化し、置賜圏域として取り組む。広報・販売・問い合わせ対応を DMO 窓口で一本化して実施することで、観光客へのサービスの向上に努める。 DMO：組織を構成する市・町・民間事業者・交通事業者などが、地域内で連携した観光客受け入れメニュー（旅行企画など）を作り、発信し販売するもの。							
期待される効果	地域連携で基本戦略を立案する体制の構築や、地域での稼ぐ力のシステム化、自らの企画による地域内消費の拡大などが期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	地域連携 DMO の運営			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 （千円）	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	134, 454	111, 502	93, 770	200	200	340, 126		
活用を想定する補助制度等	地方創生推進交付金							
役割分担	・長井市は、南陽市、白鷹町、飯豊町と連携し、地域連携DMOの運営を支援する。 ・各市町は、地域連携 DMO 及び関係機関と連携し、情報提供及び各種事業に参画する。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

⑤ 環境

ア 環境の保全

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の豊かな自然を守り、環境を維持するため、環境保全及び循環型社会構築に向けた取組を行う。
-------	--

【具体的取組】

事業名	1 環境保全及び循環型社会構築事業							
関係市町	全市町							
事業内容	圏域内の豊かな自然を守り、環境を維持するため、ごみの減量化・再資源化等、循環型社会構築に資する事業を行う。							
期待される効果	圏域内の豊かな自然環境の維持が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	ごみの減量化等に係る事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	廃棄物処理施設等の維持整備			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	7,880	8,334	8,304	8,334	8,294	41,146		
活用を想定する補助制度等	山形県みどり環境交付金							
役割分担	・各市町及び置賜広域行政事務組合は、循環型社会構築に向けた事業を推進する。 ・各市町は、置賜広域行政事務組合が実施する廃棄物処理施設等の維持整備に係る費用を負担する。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 再生可能エネルギーの利用促進							
関係市町	全市町							
事業内容	圏域内における低炭素社会を推進するため、置賜地域低炭素社会形成推進協議会等と連携し、再生可能エネルギーの導入促進に向けた取組を行う。 また、飯豊町は、「飯豊町バイオマス活用推進計画」に基づき、畜産由来の廃棄物系バイオマス及び森林資源由来の未利用バイオマスの有効活用をするための事業化プロジェクトを推進する。							
期待される効果	再生可能エネルギーの利用促進によるエネルギー自給率の向上が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	再生可能エネルギーの導入促進			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	事業化プロジェクトの推進			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	7,188	67,018	7,018	7,018	7,018	95,260		
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・各市町は、県と連携し、再生可能エネルギーの導入促進に向けた事業を推進する。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	3 森林・里山保全対策の検討							
関係市町	全市町							
事業内容	圏域の森林・里山を保全するため、森林整備や活用促進、木材供給体制の整備及び木材利用の促進等、森林・里山のあり方について検討する。							
期待される効果	圏域内の豊かな自然環境の維持が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	森林・里山保全対策の検討			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	0	0	0	0	0	0		
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・各市町は、森林里山の保全等に係る検討を行う。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

⑥ 水道

ア 圏域内水道の広域連携等の検討

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域での必要な水道水の安定供給及び機能強化を図るため、水道事業の広域連携等について検討を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 圏域内水道の広域化の検討					
関係市町	全市町					
事業内容	置賜圏域水道事業広域連携検討会と連携し、置賜地域における水道の広域化の可能性を検討する。					
期待される効果	圏域内住民の生活に必要な水の安定的な供給が図られる。					
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3
	広域化の可能性に係る検討			⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計
	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度等						
役割分担	・各市町は、県と連携し、広域化の可能性について検討を行う。					

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

⑦ 消防・防災

ア 消防・防災体制の強化

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の住民の安全・安心な生活を守るため、消防・防災体制の強化に向けた取組を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 消防・防災体制の強化							
関係市町	全市町							
事業内容	圏域内における消防・防災体制を強化・維持するため、消防車両や通信設備の更新及び消防水利の整備を適切に行うほか、災害に対応するための備蓄や資機材等の計画的整備を行う。							
期待される効果	消防・防災体制の整備が図られることで圏域内住民の安全・安心な生活に寄与する							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	車両・通信設備等の整備・更新			⇒		⇒		
	備蓄・資機材等の整備			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	351,453	379,625	355,120	257,681	250,719	1,594,598		
活用を想定する補助制度等	消防防災施設等整備費補助金、消防施設整備事業債、緊急防災・減災事業債、防災対策債、過疎対策事業債							
役割分担	・各市町は、備蓄や資機材の整備を計画的に行うとともに、置賜広域行政事務組合及び西置賜行政組合と連携し、必要な経費を負担する。 ・置賜広域行政事務組合及び西置賜行政組合は、必要な設備更新を行う。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

① 交通

ア 交通ネットワーク等の維持・整備

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の交通ネットワークを強化し、通勤、通学等の交通手段を確保するため、交通事業者その他の関係機関と連携して、鉄道、バス等の公共交通及び道路等の交通インフラの維持・整備に向けた取組を行う。
-------	--

【具体的取組】

事業名	1 圏域内鉄道路線の利用促進					
関係市町	全市町					
事業内容	圏域内鉄道路線の利便性向上や利用促進を図るため、米坂線整備促進期成同盟会、フラワー長井線利用拡大協議会、山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟、置賜地域奥羽新幹線整備・米沢―福島間トンネル整備実現同盟会等の事業を推進する。					
期待される効果	圏域内の交通手段が確保されることにより、圏域住民の利便性の確保が期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3
	各種事業の実施			⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計
	1,821	1,821	1,821	1,821	1,821	9,105
活用を想定する補助制度等	山形県市町村振興共同事業等助成金					
役割分担	・米沢市、長井市、小国町は、協議会をそれぞれ運営し、各市町との連絡・調整を行う。 ・各市町は、広報等により住民の鉄道路線の利用促進等を図る。					

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 山形鉄道フラワー長井線の利用拡大及び鉄道施設等の維持管理や整備							
関係市町	全市町							
事業内容	フラワー長井線の利用拡大や沿線公共交通との連携による利便性向上を図るため、フラワー長井線利用拡大協議会、山形鉄道公共交通活性化協議会等の事業を推進する。また、安全・安心な地域交通を確保するため、山形鉄道フラワー長井線の鉄道施設の維持管理や必要に応じた整備を実施するほか、老朽化対応の検討・研究を行う。							
期待される効果	圏域住民の利便性向上及び利用拡大が期待される							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	利用拡大事業等の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	鉄道施設の維持管理			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	長井駅舎及び周辺施設の整備			⇒	⇒			
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	531,906	510,167	63,310	63,310	63,310	1,232,003		
活用を想定する補助制度等	鉄道軌道安全輸送設備等整備事業、地域活性化事業債、山形県市町村振興資金							
役割分担	・各市町は、県や協議会等及び山形鉄道㈱と連携を図り、フラワー長井線の利用拡大に向けた取組を実施する。 ・長井市、南陽市、川西町、白鷹町は、県と連携して、フラワー長井線の鉄道施設の維持管理に必要な費用を負担する。 ・長井市は、長井駅駅舎及び駅前広場等周辺施設の整備を行う							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	3 路線バス等の運行、維持							
関係市町	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、飯豊町							
事業内容	圏域内における公共交通を維持するため、民間バス路線やコミュニティバス等の運行に係る費用を負担する。							
期待される効果	圏域内の交通手段が確保されることにより、圏域住民の利便性の確保が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	路線バス等の運行			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	267, 895	260, 266	260, 266	260, 266	260, 266	1, 308, 959		
活用を想定する補助制度等	山形県市町村総合交付金、地域公共交通確保維持改善事業費負担金							
役割分担	・各市町は、路線バス等の運行に必要な費用を負担する。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	4 既存公共交通の利用拡大策の検討							
関係市町	全市町							
事業内容	広域利用の観点により、各市町の既存公共交通の利便性を向上させ、相互利用を促進するため、利用拡大策を検討する。 (例)・各公共交通間のダイヤ接続不便の解消 ・乗継マップ、乗継時刻表の作成 ・共通乗車券（フリーパス）の発行 ・利用対象者の制限撤廃 ・交通事業者間の連携検討（予約者情報の共有など）							
期待される効果	鉄道や路線バスからの2次交通が機能することにより、圏域内の公共交通を利用した移動者の増加が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	利用拡大策の検討・実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	0	0	0	0	0	0		
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・米沢市は、既存公共交通の利用拡大のため、各市町との連絡・調整を行う。 ・各市町は、米沢市と連携し、協議及び検討を行う。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	5 広域的な公共交通網の整備に向けた検討							
関係市町	全市町							
事業内容	圏域における広域的な移動手段の確保と充実を図るため、デマンドタクシーやコミュニティバス等の広域的な運行について協議・検討を行う。							
期待される効果	広域的な交通手段が確保されることにより、圏域住民の利便性の向上が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	協議・検討			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4		R5		合計
	1,302	0	0	0		0		1,302
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・米沢市は、広域的な公共交通網の整備を図るため、各市町との連絡・調整を行う。 ・各市町は米沢市と連携し、協議及び検討を行う。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	6 道路除雪の路線交換							
関係市町	米沢市、長井市、高畠町、川西町、飯豊町							
事業内容	冬期間における道路除雪の効率化を図るため、市町間を結ぶ道路の一部について、路線を交換して除雪を行う。							
期待される効果	単独の市町で除排雪を行うよりも時間、経費の面において効率的であり、地域住民にとって冬期間における交通の安全性の確保が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	除雪の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	2,980	2,980	2,980	2,980	2,980	14,900		
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・米沢市、長井市、高畠町、川西町、飯豊町は、路線交換した道路の除雪を行う。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	7 圏域内における道路整備の推進							
関係市町	全市町							
事業内容	国道をはじめとする主要道路の整備を推進するため、置賜総合開発協議会を中心として、圏域住民の意識の醸成を図るとともに、国・県への働きかけを行う。							
期待される効果	圏域内の道路網が整備されることで、圏域内外の交流を促進させ、地域経済の活性化をもたらすとともに、圏域内住民の安全・安心の確保に寄与する							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	要望活動の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	道路大会の開催			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	1, 152	1, 152	1, 152	1, 152	1, 152	5, 760		
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・ 米沢市は、当該協議会を運営し、他市町との連絡・調整を行う。 ・ 各市町は、米沢市と連携し、住民の意識の醸成を図るとともに、国・県への働きかけを行う。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

② 移住・定住・交流

ア 移住・定住・交流等の推進

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の人口減少等に関する課題を解決するため、圏域内への移住・定住の促進、圏域内外との交流人口の拡大等に向けた取組を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 広域連携による移住交流促進事業					
関係市町	全市町					
事業内容	圏域外からの移住者の確保及び交流人口の拡大等を図るため、山形県と3市5町で構成する置賜地域移住交流推進協議会と連携し、首都圏における移住相談会（セミナー）や移住体験ツアーなどの取組を推進する。					
期待される効果	圏域外からの移住者の確保及び交流人口の拡大が期待される。					
実施スケジュール		R1	R2	R3	R4	R5
	移住相談会等の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込（千円）	R1	R2	R3	R4	R5	合計
	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度等						
役割分担	・米沢市は、置賜地域移住交流推進協議会とともに、置賜全体の魅力の発信に努めるとともに、担当学会議等を主催する。 ・各市町は、担当学会議等を通して、互いの市町における受入体制や現状報告等によりさらに連携を深め、地域全体で移住者受入れの強化と意識の高揚を図る。					

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 地域おこし協力隊交流事業					
関係市町	全市町					
事業内容	地域おこし協力隊に採用された者の経験や「ヨソモノ」目線での新たな地域資源の発見や観光資源等の活用を図るため、隊員同士の情報交換会を開催する。					
期待される効果	圏域全体の資源の発掘及び活用の推進に加え、地域おこし協力隊の定住につながる事が期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目	R1	R2	R3	R4	R5
	情報交換会の開催	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込（千円）	R1	R2	R3	R4	R5	合計
	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度等						
役割分担	・米沢市は、地域おこし協力隊の交流に向けた連絡調整等を行う。 ・各市町は、米沢市と連携し、交流事業を行う					

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	3 婚活支援事業							
関係市町	全市町							
事業内容	圏域内における結婚を望む人や興味のある人の成婚を促進するため、出逢いの機会づくりに係る事業を行う。 (例) ・結婚を望む人の広域的なデータベースづくり ・マッチングのための魅力ある広域イベントの実施 ・親世代が学ぶ婚活支援セミナーの開催 ・県のネット経由マッチングサービス加入支援（補助金支給）とマッチングサービス加入窓口の開設							
期待される効果	人口減少の歯止めの一環としての効果が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	各市町単独事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	広域連携事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4		R5		合計
	11, 202	11, 202	11, 202	11, 202		11, 202		56, 010
活用を想定する補助制度等	やまがた結婚・子育て地域連携推進事業							
役割分担	・各市町は、関係する機関と連携し、婚活活動支援を行う。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

① 職員等の交流

ア 職員研修及び交流

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の市町職員等の資質向上及び政策形成能力の向上を図るため、圏域のマネジメント能力の強化に向けた合同研修の実施、外部専門家の招へい等の取組を行う。
-------	--

【外部人材の活用方針】

活用する主な政策分野	福祉、産業振興（米沢牛の振興、広域観光）
活用期間	令和元年度から令和3年度までを予定
関係市町の費用の負担割合及び積算	関係市町の負担割合については、活用内容を踏まえて市町で協議し決定することとし、費用の積算については、その年度の課題などを考慮して専門家と米沢市が事前に協議して決定する。

【具体的取組】

事業名	1 職員研修事業					
関係市町	全市町					
事業内容	圏域内の市町職員等の資質向上を図るため、置賜地域市町職員研修協議会の事業として3市5町の職員が受講している「新規採用職員研修」や「法制執務研修」、各市町の共通する行政課題研修や専門業務研修を共同で行う。					
期待される効果	連携することにより、より幅広い知識と戦略性に富んだ研修を開催することができるようになるほか、市町間の交流が深まり、情報交換の場となることが期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3
	置賜地域市町職員研修協議会事業の実施			⇒	⇒	⇒
事業費見込（千円）	R1	R2	R3	R4	R5	合計
	461	461	461	461	461	2,305
活用を想定する補助制度等						
役割分担	・米沢市は、研修に係る検討組織の事務局を担い、事業を実施する。 ・各市町は、合同で研修の企画・運営を行う。					

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 地方創生に向けた人材育成事業							
関係市町	全市町							
事業内容	圏域内の資源や特性を活かし、新たな付加価値を生み出す地方創生の取組や広域連携を進めるため、置賜広域行政事務組合が一般財団法人地域活性化センターと締結した「地方創生に向けた人材育成に関する連携協定」に基づき、圏域内の市町職員等を対象とした人材育成事業を行う。							
期待される効果	地方創生を実現できる地域づくりの中核的人材の育成が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	置賜広域行政事務組合広域連携事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	28,000		
活用を想定する補助制度等	山形県市町村振興共同事業等助成金							
役割分担	・各市町は、置賜広域行政事務組合とともに広域連携事業を検討するとともに、事業に参加する。 ・置賜広域行政事務組合は、広域連携事業を行う。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

5 共生ビジョンの進捗管理等について

(1) 共生ビジョンの進捗管理について

具体的取組を進めるに当たっては、時代のニーズや社会情勢の変化に応じて、置賜定住自立圏共生ビジョン懇談会等において関係者の意見を幅広く反映するとともに、設定した成果指標及び各種取組の進捗状況等を基に、事業の検証と検討を行います。

(2) 成果指標一覧

【生活機能の強化に係る政策分野】

① 医療

ア 地域医療体制の充実

成果指標	単位	現状値 (基準年度)	目標値 (目標年度)	関連する事業	備考
平日夜間・休日診療所数	箇所	3 (平成29年度)	現状維持 (令和5年度)	(1)-①-ア-1(P14)	

【出典】米沢市総合政策課調べ

② 福祉

ア 子育て支援の充実

成果指標	単位	現状値 (基準年度)	目標値 (目標年度)	関連する事業	備考
病児保育事業実施施設数	箇所	4 (平成29年度)	現状維持 (令和5年度)	(1)-②-ア-1(P17)	
一時預かり事業実施施設数	箇所	14 (平成29年度)	現状維持 (令和5年度)	(1)-②-ア-2(P18)	

【出典】米沢市総合政策課調べ

イ 福祉・健康事業の充実

成果指標	単位	現状値 (基準年度)	目標値 (目標年度)	関連する事業	備考
自殺対策計画策定市町数		0 (平成29年度)	8 (令和元年度)	(1)-②-イ-2(P20)	

【出典】米沢市総合政策課調べ

④ 産業振興

イ 米沢牛の振興

成果指標	単位	現状値 (基準年度)	目標値 (目標年度)	関連する事業	備考
繁殖雌牛の頭数 ^{※1}	頭	2,002 (平成29年度)	2,800 (令和5年度)	(1)-④-イ-1(P23)	
飼料作物作付面積 ^{※2}	ha	2,095.4 (平成29年度)	2,280.0 (令和5年度)	(1)-④-イ-2(P24)	
受精卵移植頭数 ^{※2}	頭	71 (平成29年度)	260 (令和5年度)	(1)-④-イ-3(P24)	
と畜頭数 ^{※2}	頭	3,282 (平成29年度)	3,450 (令和5年度)	(1)-④-イ-4(P25)	
貸付牛頭数 ^{※2}	頭	353 (平成29年度)	420 (令和5年度)	(1)-④-イ-6(P26)	

【出典】※1:置賜家畜保健衛生所「飼養頭羽数調査」

※2:各市町畜産担当課調べ

ウ 商工業の活性化と雇用促進

成果指標	単位	現状値 (基準年度)	目標値 (目標年度)	関連する事業	備考
新規高等学校卒業求職者の県内事業所への就職率※ ¹	%	74.6 (平成29年度)	80.2 (令和2年度)	(1)-④-ウ-1(P27)	米沢管内
新規高等学校卒業求職者の県内事業所への就職率※ ²	%	83.5 (平成29年度)	86.2 (令和2年度)	(1)-④-ウ-1(P27)	長井管内

【出典】※1:ハローワーク米沢

※2:ハローワーク長井

エ 広域観光の推進

成果指標	単位	現状値 (基準年度)	目標値 (目標年度)	関連する事業	備考
置賜地域観光入込客数※ ¹	万人	733 (平成29年度)	847 (令和5年度)	(1)-④-エ-1 (1)-④-エ-2	
置賜地域外国人旅行者数※ ²	人	11,462 (平成29年)	60,000 (令和5年)	(1)-④-エ-3 (P28-29)	

【出典】※1:山形県「山形県観光者数調査」

※2:山形県「外国人旅行者県内受入実績調査」

⑤ 環境

ア 環境の保全

成果指標	単位	現状値 (基準年度)	目標値 (目標年度)	関連する事業	備考
ごみ排出量(資源を除く)	%	△ 7.7 (平成29年度)	△ 22.0 (令和10年度)	(1)-⑤-ア-1(P30)	H19年度比
リサイクルプラザにおける資源化率	%	14.2 (平成29年度)	20.0 (令和10年度)	(1)-⑤-ア-1(P30)	
最終処分量	%	△ 7.9 (平成29年度)	△ 13.0 (令和10年度)	(1)-⑤-ア-1(P30)	H19年度比

【出典】置賜広域行政事務組合

目標は、「置賜広域行政事務組合 ごみ処理基本計画」に基づく

【結びつきやネットワークの強化に係る政策分野】

① 交通

ア 交通ネットワーク等の維持・整備

成果指標	単位	現状値 (基準年度)	目標値 (目標年度)	関連する事業	備考
米坂線の利用者数 (平均通過人員※) ^{※1}	人/日	384 (平成29年度)	現状維持 (令和5年度)	(2)-①-ア-1(P34)	
フラワー長井線の利用者数 (平均通過人員※) ^{※2}	人/日	513 (平成29年度)	468 (令和2年度)	(2)-①-ア-1(P34) (2)-①-ア-2(P35)	
圏域内バス路線の利用者数※ ^{※3}	人	411,476 (平成29年度)	現状維持 (令和5年度)	(2)-①-ア-3(P35)	

※【平均通過人員】＝【各路線の年度内の旅客輸送人キロ】÷【当該路線の年度内営業キロ】÷【年度内営業日数】

【出典】※1:JR東日本「路線別ご利用状況」

※2:山形鉄道株式会社

目標は、「山形鉄道(株) 鉄道事業再構築実施計画(H28年10月)」に基づく

※3:各市町交通担当課調べ